

Turn^{ター}ン

#61

2019/12

神奈川県からIターン

自分の生き方を見つめ直し
家族と一緒に過ごす時間
をつくるために移住しました。

公益財団法人
とっとりコンベンションビューロー
【その他サービス業】

西村 努さん

NISHIMURA Tsutomu

西村さんが働く場所



公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

企業の紹介

鳥取県のコンベンション振興を図るため、鳥取県、県内市町村、その他多数の団体、企業の支援により設立された公益財団法人です。コンベンション誘致と米子コンベンションセンター管理運営の二つの事業により、鳥取県の交流人口の拡大と賑わい創出を図り、地域の活性化と発展を目指しています。

我が社のおすすめポイント

県内最大のコンベンション施設である米子コンベンションセンターは、大学の学会や地域の文化団体の発表会、有名アーティストの全国ツアーなどが開かれます。そのため、さまざまな業界の方たちと接する機会があるので自分の視野が広がります。資格取得補助制度や個人表彰制度、文化活動助成制度など、働くモチベーションアップにつなげる取り組みも用意されています。

とっとり
コンベンションビューロー
フォトギャラリー

Photo gallery



- 住所／鳥取県米子市末広町294
- 設立／1995年
- 業種／その他サービス業
- 求人職種／コンベンション誘致支援業務、コンベンション施設管理運営業務
- 職員数／25人
- 平均年齢／40歳
- 休日・休暇／125日(2019年度)、年次有給休暇(20日)、病気休暇(有給)、特別休暇(有給)
- HP／<http://bigship.or.jp/>

公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構

●就職のご相談は… ☎0120-307-238 (平日8:30~17:15)
※鳥取県事務局につながります

●移住のご相談は… ☎0120-841-558 (平日8:30~17:15)
※かける地域により、鳥取県事務局・東京駐在・大阪駐在のいずれかにつながります。※東京は10:00~18:00(木金は20:45まで)

鳥取県事務局
〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町115-1
鳥取駅前第一生命ビル1階
TEL.0857-24-4740 FAX.0857-24-4736

東京駐在
〒105-0004 東京都港区新橋1-11-7
とっとり・おがやま新橋館2階
TEL.0120-841-558

大阪駐在
〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2200
大阪駅前第3ビル22階(鳥取県関西本部内)
学生専用TEL.0120-892-450



※お車でお越しの際は、鳥取市役所駅前庁舎駐車場をご利用ください。

子どもたちと触れ合っ
て家族みんなが笑顔で
暮らしています!

Profile プロフィール

公益財団法人
とっとりコンベンションビューロー

西村 努さん

NISHIMURA Tsutomu

神奈川県から1ターン
入社3年目



神奈川県出身。関東圏で施設管理の仕事に就き、職場で倉吉市出身の妻と出会う。東日本大震災などを経験し、子育て環境や仕事との関わり方を見つめ直し、鳥取県への移住を決断。2017年春にとっとりコンベンションビューローに入社。現在は米子市で妻と子ども2人と4人暮らし。

Message メッセージ

都会で浸透していることも、鳥取県ではまだ定着していないことも多く、都会や県外で得た経験や知識を発揮して活躍できる可能性がたくさんあると思いました。鳥取県でぜひ自分の可能性を試してほしいです。

仕事 Work

米子コンベンションセンターの全般的なサービスを提供するサービス課で、利用者対応、予約・申込受付、利用相談などを担当しています。また、当センターを多くの方に利用していただけるよう、企業や団体を訪問して説明させていただいたり、地域振興・にぎわい創出のための委員会などに参加したりしています。



生活 Life

鳥取県での生活にうまく馴染めるか心配でしたが、地元の皆さんは真面目で純粋で優しい方ばかりで、職場にも早く慣れましたし、子どもたちも楽しそうに学校に通っています。長男は幼い頃よく風邪をひいていましたが、米子市は病院が多くて助かりました。豊かな自然環境に恵まれ、外で遊ぶことも増えたので、長男も今ではすっかり丈夫になりました。

Challenging やりがい

当センターの利用者にはもちろん、県民・市民・地元の皆さまに喜んでいただけるよう、さまざまな取り組みや企画にチャレンジして、さらに地域振興やにぎわい創出の役に立てることは、とてもやりがいがあります。県外出身の視点とこれまでの経験を生かし、来て楽しいと思ってもらえる施設運営と企画ができたかと考えています。



Day off 余暇

関東では通勤時間が長く、子どもとすれ違いの生活でしたが、移住してからは、家族と過ごす時間が大幅に増え、一緒にサッカーをしたり、ご飯を食べたり、絵本を読み聞かせたりと子どもたち中心の生活が送れています。妻もこれまでの経験を生かした仕事を始め、昨年には家を新築しました。これからも家族と笑って暮らしていきたいです。

Interview インタビュー

- Q.1ターンするきっかけは?
- A.これまでの生き方を見つめ直して、家族と過ごす時間をもっと作りたいと思ったから。
- Q.1ターンで心配したことは?
- A.自分や子どもが新しい環境にうまく対応できるのか心配だった。
- Q.1ターンして良かったことは?
- A.ワークライフバランスが取れるようになって、家族と笑顔で過ごす時間が増えたこと。

Before After ビフォーアフター

子どもと一緒にご飯を食べる回数

- 1ターン前 0回/週
- 1ターン後 朝・夜 14回/週

家を出る時間

- 1ターン前 2時間前
- 1ターン後 30分前

以前は、朝早くに出勤し夜遅くに帰宅していたので、子どもたちと一緒にご飯を食べられませんでした。たまに子どもを保育園に送り届けてから出勤していましたが、その時は2時間前に家を出なければ間に合いませんでした。今は通勤時間も短くなって、ほぼ毎日一緒にご飯を食べられます。

Senior 先輩から

彼は誠実な人柄で、都会で得た経験を生かして仕事に取り組み、飲み会などでは少しヤンチャで面白い一面も見せてくれます。都会的なセンスとヤンチャ風を吹かせて職場に良い変化をもたらしてくれることを期待しています。